

【指定管理者選定委員会議事録の記載事項】

<老人福祉センター横浜市福寿荘指定管理者選定委員会（第3回）>

- (1) 日 時 平成 17 年 9 月 29 日（木）
- (2) 場 所 旭公会堂 1 号会議室
- (3) 出席者 足立委員、小澤委員、中鹿委員、兵藤委員、市原委員、見上委員
- (4) 傍聴者 無

<議事内容>

| | | |
|---|--------|--|
| 1 | 議題（概要） | ・老人福祉センター横浜市福寿荘の指定管理者の候補者の選定 |
| 2 | 委員意見等 | <p>（1）プレゼンテーション後の質疑応答</p> <p>NPO 団体に対し、ニーズ把握の方法、応募の理由、人事雇用計画、緊急時の体制について質問があった。一方、現在、施設管理している団体へは、自主事業や運営への取り組みや、これからの課題について、また、苦情の状況等の質問があった。</p> <p>（2）審議</p> <p>（委員）NPO の組織の特色を生かした小破修繕の 5 ヶ年計画の提案は評価できる。</p> <p>（委員）確かに NPO の自主事業は、ハウスクリーニングの講座など独自性がある。</p> <p>（委員）NPO のニーズ把握は、窓口や利用者だけでなく、町内会、老人会にもアンケートを行い要望把握していく、という点は期待がもてる。しかし世代間交流であるとか他施設との連携といった点では、市社会福祉協議会と比較すると弱いと思う。</p> <p>（委員）市社会福祉協議会の自主事業は、老人福祉センターの実態を理解し、認知症などこれからの高齢者の課題に向けた提案になっている。</p> <p>（委員）市社会福祉協議会は、質疑応答の中で、今後の事業展開、課題などに対し施設運営の経験を踏まえた明快な説明で、安心感を与えた。</p> <p>（委員）市社会福祉協議会は、これまで経費削減に努めており、老人福祉センターの実情では、これ以上の経費節減は難しいと言っているように聞こえた。経費の面ではもう少しアピールが欲しかった。</p> |

| | | |
|---|------|---|
| | | <p>(委員) 現在の苦情やトラブルの状況を聞くと、認知症の問題などこれからの高齢者福祉の課題が現れている。老人福祉センターの管理運営の大変さを感じるとともに、現状把握が十分され、今後についてもよく考えられているのがとてもよくわかった。</p> <p>(委員) 市社会福祉協議会のこれまでの管理運営の実績は、評価できるし、信頼して運営を委ねられる。</p> <p>(委員) NPO の自主事業の提案は、よく研究した内容で評価できるのだが、老人福祉センターの実態に本当に対応できるか少々不安が残る。</p> <p>以上の審議を踏まえ、委員全員の承認により、総合得点の高い団体を優先交渉権者とする選定となった。</p> |
| 3 | 審議結果 | <p>優先交渉権者 社会福祉法人横浜市社会福祉協議会</p> <p>次点交渉権者 特定非営利活動法人建物管理ネットワーク</p> |

<その他> 特になし